

急性期網膜中心動脈閉塞症の発症時間別の画像所見に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属溝口病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2022 年 4 月 26 日 ～ 2024 年 3 月 31 日

〔研究課題〕

急性期網膜中心動脈閉塞症の発症時間別の光干渉断層像所見

〔研究目的〕

急性期網膜中心動脈閉塞症で異なる発症時間での光干渉断層像所見による網膜構造の変化を追跡すること

〔研究意義〕

網膜中心動脈閉塞症の病理所見では網膜内層の浮腫と内顆粒層の菲薄化が示されています。今回急性期網膜中心動脈閉塞症患者で、異なる発症時間での画像所見による網膜構造の変化を調べます。急性期網膜中心動脈閉塞症の画像所見として網膜内層の浮腫は知られておりますが、内顆粒層の菲薄化など網膜構造の詳細は明らかではありません。急性期網膜中心動脈閉塞症患者さんの患眼と健眼の画像所見を比較し有意に変化が認められれば、急性期網膜中心動脈閉塞症の内層の虚血を示す、重要なバイオマーカーが見つかり、診断に役立ちます。

〔対象・研究方法〕

2015 年 4 月 1 日から 2021 年 10 月 31 日までに帝京大学医学部附属溝口病院眼科外来に受診した網膜中心動脈閉塞症の患者さんです。対象人数は 30 名です。あなたの年齢、性別、光干渉断層計で測定した網膜脈絡膜像を診療記録より収集します。この研究のために新たに検査する必要はありません。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属溝口病院 眼科

〔個人情報の取り扱い〕

あなたのカルテの個人情報をこの研究に使用する際には、あなたのお名前の代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。あなたと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、帝京大学医学部附属溝口病院眼科内のインターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、同分野の職員によって入室が管理されており、第三者が立ち入ることはできません。この研究によって取得した個人情報は、帝京大学医学部附属溝口病院・教授・今村 裕の責任の下、厳重な管理を行い解析が行われます。

また、この研究の成果を学会で発表したり、医学論文にする場合にも、あなたが特定できる情報を使用することはありません。

研究終了後、「臨床研究における記録保管に関する標準業務手順書」に従い、各種書類は倫理委員会事務局に提出し帝京大学臨床研究センターにて 10 年間保管します。その後、復元できないよう消去し、廃棄致します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 氏名 今村 裕 職名 教授
研究分担者: 氏名 市川 良和 職名 講師
氏名 小宮 有子 職名 助手
氏名 藤本 太一 職名 助手
氏名 西尾 真以 職名 助手
氏名 森 絵里 職名 シニアレジデント
所属: 医学部附属溝口病院眼科
住所: TEL: 044-844-3333 (代表) [内線 8112]